

平成 30 年度 研究計画書

Research Plan FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ I 講座・准教授
氏名 Name	鈴木広和
専門分野 Academic Field	歴史学（ハンガリー史）

平成 30 年度 研究計画（ホームページで公開） Research Plan FY2018 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	中世ハンガリーにおける歴史叙述				
研究計画（400 字～500 字で記入すること。） Research Plan (Approximately 100 Words) 中世ハンガリー王国における歴史叙述の歴史において、歴史叙述の「世俗化」など大きな変化が見られた 13 世紀に書かれた作品を研究対象とする。まず 1280 年代前半にケーザイによって書かれた <i>Gesta Hungarorum</i> を中心に研究を進める。実質的に 1984 年に公刊された <i>Szűcs</i> の研究がこの作品に関する現代歴史学による成果の集大成となり、その後本格的な研究はほとんどなされていないが、 <i>Szűcs</i> の研究にも見直すべき点が種々ある。今年度は、先行研究で主張されてきた、この作品の特徴とされる次の 3 点について、 <i>Szűcs</i> を含めて批判的に検討することを主な課題とする。					
1 人民主権論を主張した作品である。 2 <i>natio Hungarorum</i> の歴史を描いた歴史である。 3 この作品には中小貴族の政治的マニフェストの側面がある					
このうち、今年度は 2 について論考を公刊する。その上で 1 と 3 について、来年度に研究成果を発表できるよう今年度中に準備を進める。来年度以降は、この作品の記述が 14～15 世紀にどのように継承されていたのか、さらに近世から近代の歴史叙述にどのような影響を及ぼしたのかについて研究を広げていく予定である。					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ヨーロッパ 中世史	東中欧地域研究			
キーワード Keywords*2	歴史叙述	史学史	中世史	ハンガリー史	ケーザイ